

大阪大学グローバルCOE「コンフリクトの人文学 国際研究教育拠点」プログラム

研究プロジェクト：「歴史」をめぐるコンフリクト-アンデス地域の「過去」と「現在」

代表者：染田秀藤(大阪大学大学院・人間科学研究科教授)

第4回ワークショップ

アンデス史における「見えない」コンフリクト

従来のアンデス史研究においてあまり重視されなかったペルー中央高地のワリ国家成立の経緯および植民地時代初期に発生した女性の「憑依」現象をテーマに、アンデス地域の歴史を貫くコンフリクトの諸相を明らかにし、欧米型アンデス史像からの脱却を目指す。

日時：2008年9月27日（土）14：00－17：00

場所：国立民族学博物館 4階 大演習室（4073号室）

聴講自由

発表者・報告タイトル

***土井 正樹**（京都文教大・非常勤講師）

「ペルー中央高地におけるワルパ期の象徴闘争とワリ国家成立の成立」

***網野 徹哉**（東京大学大学院・准教授）

「マリア・ピサロの憂鬱～ある憑依例から見た16世紀ペルーにおける
コンフリクト状況」

問合せ先：大阪大学大学院人間科学研究科 染田秀藤研究室

TEL: 072-730-5422 / 06-6789-4050 someda@hus.osaka-u.ac.jp